

「巨開門松」 南信州にデビュー！

あさげ新聞

地域共生推進室 発行
【15号】
2022年1月5日発行
ご意見・質問は下記の
メールまでどうぞお
寄せ下さい。採用され
た方には旬の野菜を
プレゼント！
mail ;
ta-hara@koaglobal.com



株式会社 蔵

- こも編みからスタートした門松作りも、十二月二十四日飯田産業センターの据え付けをもって完了しました。今年は、地域のお店や企業からご注文を頂き、デザインを統一することで、均一に仕上がり、門松の出来栄も昨年より上達しました。
(右の写真は、道の駅「蔵」に据付けたあさげの里製門松)
- 1. 園芸事業
- 【門松製作】
- ・松、竹、梅、南天の採取
- ・門松の据え付け
- 2. 稲作事業
- ・荒廃農地復元補助金の申請
- 3. 薬草事業
- 【センプリ栽培】
- ・越冬対策後の経過観察



- 4. 【野菜栽培】
- ・野沢菜漬けの包装
- ・信濃食品へ野沢菜栽培方法見学
- ・秋野菜畑収穫後の耕起
- 5. 薬細工事業
- ・社員向け正月締め飾りの生産出荷
- 6. お客様来訪
- ・飯島町地域起こし協力隊薬細工職人とアスパラガス農家の二名の方が門松製造を見学

今年の制作数は、三十一基で、広い倉庫内は、出荷順番を待つ(松)門松の土台で壮観です。納期が来ると門松の土台を軽



採取した松は倉庫に運び枝を剪定し、段飾りするために長さを五十・四十・三十センチメートルの三段階に切り分けました。



門松の飾りつけが始まりました。昨年に引き続き地域の方のご厚意で山から松を採らせていただきました。

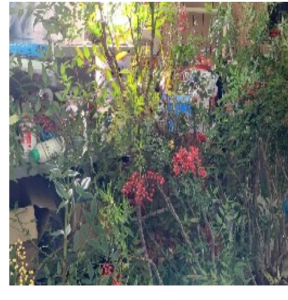
園芸事業 「門松製作」

信濃食品様では自家栽培した



野沢菜漬けを二袋四百グラムづつ、樽から出して袋詰めをし、蔵でシーラー機をお借りして、四百八十一袋の包装をしました。その後、商品ラベルを貼り付けて全社員の方にお届け致しました。お届け後、数名の方から追加のご注文を頂きました。今年の新規にお借りする三反歩は、休耕田として耕作されていなかったため荒地となっていました。来年水田に復活させることに、荒廃農地復元補助金が阿南町から交付頂けるので、申請を行いました。

野菜栽培 「野沢菜漬け」



トラックに載せ、現地で飾り付けするため、天然の白梅、紅白の南天、三社飾り、おやす、水引を持ってお客様のところへ向かいました。



野沢菜を漬物にしています。野沢菜カブのカット断面に紫色のアントシアンのシミが出る

稲作事業 「荒地復活」



一月の見学は、野沢菜の漬け方について訪問する予定です



野沢菜を漬物にしています。野沢菜カブのカット断面に紫色のアントシアンのシミが出る



「おきよめ湯」



「地域の店」

今年、地域の皆様よりご注文頂いた門松を紹介いたします。
・地域のお店 七社
・電子工業会企業 六社

「門松の紹介」



来年は、オンラインショップでのわら細工販売に取り組んで参ります。

薬細工事業



「電子工業会企業」



「クラインガルテン 管理棟」



「有限会社にしぎか」



「宮澤理容所」



「有限会社 龍泉閣」



「公益財団法人 南信州飯田産業センター」



「株式会社 サンリエ」



「株式会社 コムス」



「株式会社 吉川」



「信菱電機 株式会社」